

会議録

会議名 (審議会等名)	相模原市南区区民会議		
事務局 (担当課)	南区役所区政策課 電話042-749-2134 (直通)		
開催日時	令和5年2月14日(火) 14時00分～16時00分		
開催場所	南区合同庁舎3階 講堂		
出席者	委員	17人(別紙のとおり)	
	その他		
	事務局	9人(南区長、副区長、他7人)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 区長挨拶 3 報告 第2回南区区民会議の結果について 4 議題「地域活動への参加」について 5 その他 6 閉会 		

審議経過

主な内容は、次のとおり。（○は委員、●は事務局の発言）

1 開会

2 区長挨拶

菅谷南区長から挨拶を行った。

3 報告 第2回南区区民会議の結果について

資料に基づき事務局から説明

（質疑なし）

4 議題 「地域活動への参加」について

資料に基づき事務局から説明

○ 本会議では、基本的には地域活動をどのように活性化させていこうかという前向きな考えで、検討を進めていきたいと考えている。

まず、最初のテーマとしては、参加していない方が70%という現状に対して、どのようなところに改善の余地があるのかとかいうことも含めて、順番に意見を伺っていききたいと思う。（井坂会長）

○ 先日、同志社大学教授のお話を聴く機会があり、その中で参加しない一番大きな理由について「頼まれていないから」が多くを占めていた。

頼めばやってくれる方は多く居ると思う。そうした方に、どのように依頼していくかというのが大事ではないか。（金森委員）

○ 自治会加入のチラシには、自治会の役目について触れられていないことが多いと感じており、若い方々の加入に繋がっていないと思う。

住民目線で考えないと、なかなか自治会員は増えていかないと思う。（増本委員）

○ 無関心という回答については、ある程度アンケートに答えようという意識を持って積極的に回答されているため、この結果よりもっと深刻な状況があると思う。

加えて、コロナ禍の影響から活動自体、少し停滞して、実施できない状況があることも加味しないといけないと思う。今後、面白いイベント等が、心おきなくやれるようになれば、もう少し結果の数字も変わると思う。（渡辺(幸)委員）

○ アンケート結果として、特に若い方の参加の割合が低いというデータであるが、例えば、

相模女子大学のインターン活動や、地域づくり大学でのプレゼン等、面白そうだなと思う活動が実施されているため、そうした活動を市がもっと積極的にイベントとして開催すれば、学生さんに響くのではと思う。（石森委員）

- 頼まれると動く学生は居るが、自主的には手を挙げないのが現実であり、きっかけとしては、声かけが一番多いと思うが、毎回同じメンバーになるなど、参加してくれる学生の負担になってしまうこともある。どこか違う団体とのコラボ活動や、学園祭を利用していただくことも効果的ではないか。（吉田委員）

- 特に関心がないという回答について、その掘り下げが重要だと思う。

青年会議所では、当たり前のように社会貢献活動を行うが、例えば自身の経験では実際に入会するまでは、社会のために活動するというよりは、まずは、自社のために入会しようというイメージであったが、後々、地域をよくしないと自社はよくなるまいという考え方を理解し、全体的にこの相模原市のために活動をするに至ったものである。

現在実施されているお祭り等に、企業や青年会議所等の団体を巻き込んでいただき、もっと活動の見える化することで、このお祭りをやっているのは、自治会の方々なんだというご理解をしていただいた後に、様々な細分化された事業に参加してくれるきっかけというのを与えていくのが一番良い流れではないかと思う。（九嶋委員）

- 自身が子どもの頃に子供会をきっかけに、自治会の方たちや地域の人との接点があった。現状、自身の居住地区に子供会が無いことから、自治会を知るきっかけが減っているのではないか。

他にも、大学生さんにおいては、就職活動に活かせるような、ボランティア活動の証明書を発行する等があれば、地域とのつながりや、参加を依頼する際にも効果的ではないかと思う。（東委員）

- 防災セミナー等を子育て支援施設で行うと、参加率が高くなっている。防災と絡めた子供が参加できるイベントを通じて自治会を知るきっかけになれば良いと思う。（渡辺(美)委員)

- 地域活動については、その活動が、その人の時間の中でどの程度の位置を占めるのかが問題だと思う。例えば、参加者がどの程度、時間的な余裕を持っているか、どの程度地域の人たちとのつながりに必要性を感じているかを考えて、地域活動をどのように取り入れていくかを考えていくことが一つの課題と考えて取り組んでいる。

また、自治会の魅力については、自分の住んでいる街を良くしようということが基本のスタンスと考える。そのため、イベントについては、行政や地域、あるいは学生さんたちを1つのチームとして、活動の中に取り入れていきたい。イベントは、当事者が楽しめれば良い

と思うが、まちづくりは、その街に住んでいる人たちが幸せになることが大切だと考え、取り組んでいる。(中島(千)委員)

- 興味がないから全くやらない、最初からもうやらないと決めている方は、少数だと思う。何かできることがあれば、自分ならこういうボランティアができる、という想いを多くの方が持っているのではないか。アンケートを行うなどで、いろいろなボランティアに参加してもらうことが大事だと思う。

また、防災について、弱い立場の方々をフォローするには、近隣住民だけでは実現できないため、地域全体で取り組む必要がある。助けたいという自発的な気持ちを育てていくことが地域では大事である。(佐田委員)

- 若者参加ということで、本会議では検討を続けてきたが、現在の交通安全協会の活動参加者の平均年齢は78歳である。活動への勧誘を行っているが、報酬はあるのかと聞かれ、ボランティアを募ることに難しさを感じている。

また、参加のきっかけが分からない方は多いと思う。区民会議では参加する委員は皆さん真剣に話し合いをしているので、行政には傍聴者が来るような宣伝をしてほしい。また、若い働き世代は日中の参加が難しいと思うので、開催時間などから考えていかないと、若者参加を増やすのは難しいと思う。(鈴木委員)

- 地域活動への参加率が低い結果は残念に思う。参加する楽しさや企画する面白さを知ってもらいたい。また、地域活動もイベント以外にも地道な生活に密着した活動が幾つもあるが、参加者は固定化している。

自治会の加入率が減少していること、担い手不足により活動ができなくなっている等、自治会自体を見直し、根本的に変えていかないといけないのではと感じている。

若者は、情報をSNSで集めており、地域活動以外の楽しいことはたくさんある。(篠塚委員)

- 働く世代には、役員をお願いしても断られてしまうが、その様な方々の中にも楽しいからと自治会に遊びに来てくれる方はいる。若者も自治会の体育部には人数が集まっている。スポーツを通じて、交流を深めている様子である。スポーツ以外にも、バーベキュー等、家族ぐるみで一緒に行き、今度は自治会活動についても手伝いに来てくれている。無理にお願いをしてもなかなか難しいと思う。自主的に何か集まれる組織にできていければ良いと思う。

また、コロナ禍で中止が続いていたイベントも再開に向けて動き出したが、経験者が少ない活動もある中で、活動自体の見直しも行うことを通じて、自治会の活動の幅広さを改めて知ってもらえる機会にもなっている。

しかしながら、近隣住民同士のコミュニケーションが取れないこともあり、防災面での不安や、ごみ置き場の利用マナーについても課題が生まれている。(中島(勝)委員)

- 自治会活動は自分の中では地域活動だと捉えている。

最初に、今住んでいる近くを少し良くするために、みんなで知恵を絞る、次にそれが住んでいる近くの問題だけではなく、大野南地区、あるいは南区として更に範囲を広げ、まちづくりにつなげていくにはどうしたら良いだろうか、自治会が果たせる役割は其中にどのようなものがあるか、と模索する必要があると考えている。

自治会の支援制度を、相模原市は持っているが浸透していないところがあると思う。

また、地区計画でも市と相談をし、協議会を立ち上げ、市が派遣するコーディネーターや、専門家と様々な問題点をどうクリアしていくか協議し、議会で条例として認められると、達成感も共有することができる。(大木委員)

- 当地区では、子供会を近隣小学校のPTA、校外委員さんが担っている。

地域イベントの中には、予算の半分を寄付で担っているものがあり、人数も200名以上を必要とするなど、地域の協力が必要なものとなっている。

防災については、火災対応が非常に心配で、学校のプール以外の防災貯水槽を各地区に設けるべきと考える。(田村委員)

- アンケートについては、参加してよかった、こういうことが楽しかった、という意見も集めて欲しかった。

なぜ、これまで地域活動に参加してきたかという、若い方からお年寄りまで誰もが安心して過ごせるよう安全で安心なまちづくりをみんなで作るという意識からである。そうした中で、自治会加入率が低い状況においては、自治会の役割等を見直す時期に来ていると考えている。これは、地域の皆さん全員で検討すべきと考えており、まちづくり会議という様々な団体の人員に加え年代も40、50代から構成される当該会議体で発言頂くことが重要であると考えている。自治会だけに留めず、地域の皆さんで地域の安全・安心と、防災、減災、環境問題を一緒に解決していくことを目指し周知している。(穂刈副会長)

- 経験上、学生は大きな呼びかけには答えないが、決して興味が無い訳ではなく、個人に声かけをすると参加してくれる。しかし、声かけのメンバーが固定化してしまうと、その学生の負担が大きくなりすぎることも気を付けたいところである。これは、おそらく自治会活動や地域活動においても同様に起こりえると思う。

それでは、本日皆さんから意見を踏まえ、他に発言はありますでしょうか。東委員はいかがですか。(井坂会長)

○ 私自身、これまで自治会活動に興味はあったが、きっかけがなく参加できていなかった。
しかし来年度から持ち回りの役職があるため参加したいと考えている。

おそらく、相模原商工会議所青年部や、相模原JCさん、法人会の青年部さん等の団体構成員は、地域活動に興味がある人が多く居ると思うため、団体へ積極的に声かけすることで参加率はあがるのではないかと。（東委員）

○ 九嶋委員いかがでしょうか。（井坂会長）

○ 既に実施しているかもしれないが、子どもをターゲットにした運動会の実施は面白いと思う。人手不足であれば協力させていただきたい。（九嶋委員）

○ 金森委員いかがでしょうか。（井坂会長）

○ 近隣エリアの地元の学生さんがLINE登録をしているものがある。

このLINEに募集情報等を共有することは可能であるが、「イベントの参加者募集」、「スタッフ募集」への反応は良くない。「企画してください」や「スイーツコンテスト審査員の募集」「警察官になりたい人集まれ」の様に、学生さんのツボを押さえた投げ方や利益になるような投げ方をすると反応はある。

市のボランティア認定制度を活用することも良いのではないかと。（金森委員）

○ 鈴木委員に伺います。交通安全関係で「本当はこういうことを学生がやってくれると良い」と考える企画等がありますか。（井坂会長）

○ 交通安全に関しては、朝の通学時における児童・生徒の安全が一番の課題と感じている。
しかしながら、学生さんも通学時間であるため依頼はできないと考えている。

他市事例だが、若者が駅周辺等で自発的に行っていること（スケートボード、音楽活動、ダンス）を市主催で大会として取り上げて、各種の有名な関係者を審査員として呼ぶことで若者のイベントとして成功しているものがあつた。こうしたイベントも回を重ねることで市主催から若者主体のイベントにしていけたら良いと思う。（鈴木委員）

○ 5年、10年程前、商店街でイベントを準備する際に路上ライブをしている若者へ声かけをして、イベントで演奏をしていただいたことがある。（田村委員）

○ ボランティア認定制度において、自治会のイベントや、会議のお手伝いは時間数としてカウントされるのか。対象かどうか、都度ごとに確認する必要があるか。

対象となる場合は、今後ふるさとまつりのお手伝いを募集する際などに、周知できると良いのではないかと考えている。（大木委員）

● 所管の市民協働推進課にも確認し、後日改めて皆様に回答させていただきたい。

○ 次回会議に向けて、本日の検討内容を整理しつつ、現在行っている良い活動、またその周

知方法の改善やアイデアについて検討出来ればと思う。

さらに、今後多くの地域活動が再開されるにあたり、内容全体の見直し等もあるかと思うが、その機会を通じて、自分たちが関わっている場所がより良くなっていくためには、どうすればよいか。また、それらは一人ではできないから、みんなで考えながらやっていく、そのために何を活動していくのか、その原点をもう一度、一緒に考えていきたいと思う。

(井坂会長)

5 その他

金森委員から、ユニコムプラザのイベントについて情報共有があった。

次回の日程について、5月以降の開催予定であると事務局から説明があった。

6 閉会

相模原市南区区民会議委員名簿

(順不同・敬称略)

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	東 正充	相模原商工会議所		出席
2	井坂 聡	相模女子大学	会長	出席
3	石森 寿幸	公募委員		出席
4	井部 弥生	公益財団法人相模原市民文化財団		欠席
5	大木 恵	大野南地区まちづくり会議		出席
6	金森 巖	相模原町田大学地域コンソーシアム業務部部長補佐 市民・大学交流センター所長		出席
7	草薙 喜義	相模原市社会福祉法人経営者協議会		欠席
8	九嶋 俊彦	公益社団法人相模原青年会議所		出席
9	黒子 信雄	東林地区まちづくり会議		欠席
10	佐田 昌史	相模原市民生委員児童委員協議会		出席
11	篠塚実希子	相模台地区まちづくり会議		出席
12	鈴木 貴市	相模原南交通安全協会		出席
13	瀬尾 守一	相武台地区まちづくり会議		欠席
14	田中 美加	北里大学		欠席
15	田村小次郎	大野中地区まちづくり会議		出席
16	中島 勝平	麻溝地区まちづくり会議		出席
17	中島 千尋	相模原市地区社会福祉協議会南区連絡会		出席
18	長瀬 徹	株式会社ジェイコム湘南・神奈川相模原・大和局		欠席
19	穂苅 健二	新磯地区まちづくり会議	副会長	出席
20	増本 敏康	公募委員		出席
21	安江 星那	南区若者参加プロジェクト実行委員会		欠席
22	横山 日南	さがまち学生 Club		欠席
23	吉田 貴子	女子美術大学		出席
24	渡辺 美帆	子育て親育ち応援 With. cfc		出席
25	渡辺 幸雄	公募委員		出席